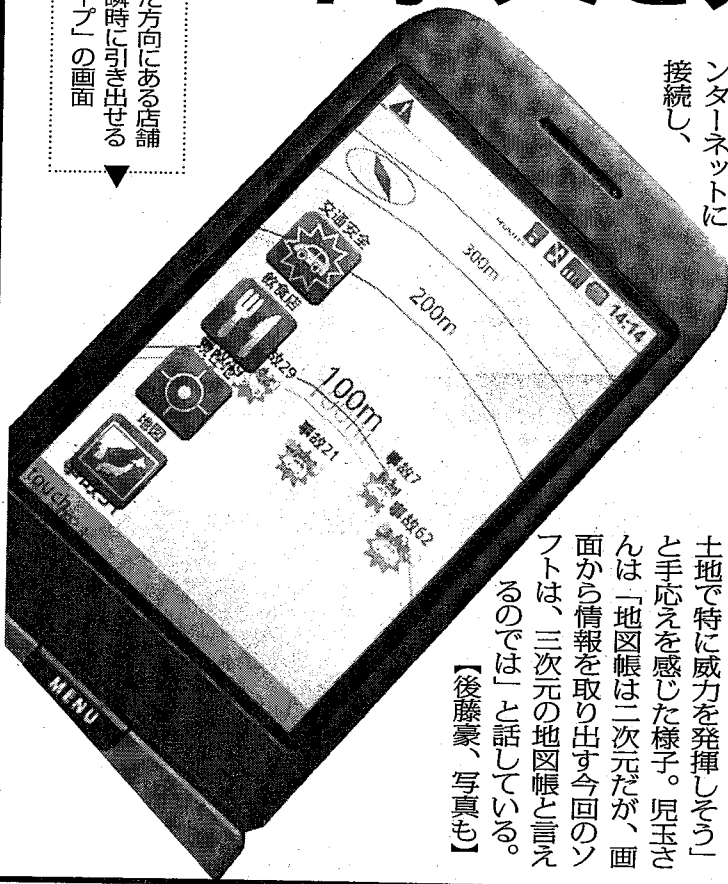


# 向けた方角 道案内

機器を向けた方向にある店舗  
情報などが瞬時に引き出せる  
「ロコスケープ」の画面



慶応大コ・モビリティ社会研  
究センター研究員の児玉哲彦さ  
ん(29)が、携帯電話型の機器を  
向けた方角にある店などの情報  
が表示されるソフトウエア「ロ  
コスケープ」を開発した。東西  
南北が分からない初めての土地  
でも、瞬時に地元情報が得られ  
る画期的なもので、携帯電話で  
の利用を目指している。

### 携帯向けソフト 慶大研究員開発

簡単に情報を得て屋外で機動  
力を高めようと、GPS(全地  
球測位システム)と地元情報を  
組み合わせ、約半年がかりで開  
発した。

既製の携帯電話ソフトは、イ  
ンターネットに  
接続し、

## 店舗や交通事故情報も

検索サイトから情報を引き出す  
手間がかかる。一方、ロコスケ  
ープは画面に距離を示す同心円  
が表示され、機器の角度を変え  
るのに合わせて表示エリアが3  
60度自在に変わる。周辺の店  
舗や交通事故多発地点などの情  
報はアイコンで表示され、画面  
をタッチすると営業時間や事故  
形態などが分かる。自分がいる  
場所を示す地図機能もある。

慶応大は今後、住民からの情  
報やインターネット情報を反映  
させる。子育て支援のために託  
児所などの情報も充実させ、母  
親らの交流促進も考えている。

青森市での初実験に参加した  
男性(52)は「進む方向に何があ  
るかがすぐに分かる。知らない  
土地で特に威力を発揮しそう」  
と手応えを感じた様子。児玉さ  
んは「地図帳は二次元だが、画  
面から情報を取り出す今回のソ  
フトは、三次元の地図帳と言え  
るのでは」と話している。

【後藤豪、写真も】

本記事は、毎日新聞社の許諾を得て掲載しています。無断での転用・複写を禁じます。